

# 一 般 質 問

令和7年第4回定例会（12月11日）

質 問 者	内 容	答 弁 を 求 め る 者
高山 豊彦	<p>◎現状の課題を問う</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 茶源郷情報配信システムの活用について 情報の共有化を図るため、全戸への貸与が必要では。</li> <li>2. 体験交流センターの活用について 体験交流センターはどのような利用をされているのか。</li> <li>3. 物価高騰対策について 住民に対する物価高騰対策の考えは。</li> <li>4. 国保診療所の運営について 国保診療所事業の継続についての取り組みは。</li> </ol>	<p>町長 理事兼総務課長</p> <p>まちづくり応援課長</p> <p>理事兼総務課長</p> <p>保健福祉課長</p>
山本 達也	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 和束町の移住就農者獲得のための取り組みは。 (1) 全国で開催されている就農イベントへの参加実績は。 (2) 農家の後継者問題に対する新規就農者のマッチング実態は。 (3) 耕作放棄地問題に対する新規就農者マッチングの現状は。</li> <li>2. 林業の活性化において現在の取り組みと森林樹木の有効活用について今後の施策は。</li> <li>3. 今年度の企業誘致軒数および名称、業種、売上や雇用規模、事業開始時期は</li> <li>4. グリーンスローモビリティなどの観光ルートの草刈りや清掃について、今の頻度と状況は。</li> <li>5. お茶の京都グリーンライナー（和束急行線）の利用実績は。</li> <li>6. WazCar の運用で高校生の通学利用定期券を発給できないか。</li> </ol>	<p>町長 理事兼建設農政課長 まちづくり応援課長</p> <p>町長 理事兼建設農政課長</p> <p>町長</p> <p>理事兼建設農政課長</p> <p>まちづくり応援課長</p> <p>町長 まちづくり応援課長</p>
岡本 正意	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域医療を守る取り組みについて (1) 国保診療所の医師確保、診療体制維持を ① 診療所医師の辞職意向を受け、来年度以降の医師確保、診療体制維持へどう取り組んでいるか。めどはあるのか。 ② 今回の事態を繰り返さないための今後の対策は。 (2) 山城総合医療センターを守るために ① 厳しい赤字経営の原因をどう見ているのか。 ② 根本原因は、国の医療費削減方針による診療報酬の低さがある。国に対し診療報酬の大幅引き上げの要請を。</li> </ol>	<p>町長 保健福祉課長</p>

## 2. 公共交通の充実を

町長

### (1) ワズカーの改善のために

まちづくり応援  
課長

- ① 乗務員の安定的確保へ身分保障の抜本的充実を。
- ② 料金の見直しを…1) 町内一律料金に、2) 引き下げを  
3) 全利用者対象に回数券を。
- ③ ドアツードアでの運行を。

### (2) JR 加茂駅での鉄道と路線バスの連絡不調改善を

- ① JR の遅延でバスとの連絡が不調となり乗客が取り残されるケースが発生している。改善へ関係機関に要請を。

### (3) 高校生通学費補助を拡充し、バス定期代の全額補助、鉄道定期代補助の実施を。

## 3. 府教委の府立高校再編方針をどう考えるか。

町長

### (1) 府教委が発表した「府立高校の再編整備の考え方」では統廃合を進める方針であり、「再編該当校」に木津高校も含まれている。この方針への町長の見解は。

### (2) 木津高校が統廃合されれば、子どもたちの進路への影響だけでなく将来のまちづくりにも大きく影響する。「統廃合ありき」の動きに反対し、地域の拠点として生かす立場で府に要請を。

## 4. 「非核三原則」見直しに反対を

町長

### (1) 政府は「国是」としてきた非核三原則を見直す検討を進めている。これは唯一の戦争被爆国としての責務を放棄し、核抑止への依存を高め、核戦争や核攻撃のリスクを核攻撃のリスクを拡大する道であり到底許されないと考えるが、町長の考えは。

### (2) 「非核平和宣言の町」として見直しに断固反対し、政府に対し、非核三原則堅持の要請を。